



# 知ってるつもり (106)

学芸員 奥住 淳

## ◆ まがたま 勾玉 — 古代のアクセサリー —

### 勾玉のルーツ

勾玉は、石を材料にして作られた首飾りで、丸みを帯びた「コの字」。「Cの字」の形をしています。そのルーツは、縄文時代に作られた動物の角や牙を使った装身具で、狩りによる生活をしてきた縄文人は、熊や狼など強い動物への信仰があり、お守りとして身に着けたのではないかと考えられます。石によるアクセサリーとしては、山梨県北杜市天神遺跡からは約6000年〜5000年前のヒスイ製ペンダントが出土したも



首飾り (香取市片野古墳群出土) 観音教寺・芝山はにわ博物館所蔵

のが最古とされています。勾玉の語源としては、「勾」は、かぎ形にまがる、「玉」は、美しく価値のある石という意味があります。「曲玉」という漢字も当てられます。

### 古墳時代の勾玉

勾玉が最も盛んに作られたのは、古墳時代(3世紀後半〜7世紀)になります。古墳時代は、地域を治める支配者・権力者の力が強くなり、古墳と呼ばれる土を高く盛った特別なお墓に埋葬されました。古墳の埋葬施設を発掘すると、身に付けていた勾玉などの装身具が副葬品として出土することもあります。権力の象徴として祭や儀式で使用されたり、魔よけとして身に着けたりしていたと考えられます。勾玉の形については、①牙の形が元になっている、②胎児を表していて祖先の霊が宿り身を守ってくれることを願った、③月の形を表していて月を神様とする信



勾玉 (香取市片野古墳群出土) 観音教寺・芝山はにわ博物館所蔵

仰があったのではないかとの説があります。

### 材料と作り方

勾玉に使用される石材には、ヒスイ・メノウ・碧玉・水晶・滑石などがあります。中でも硬くて神秘的な深緑色のヒスイや赤や青色のメノウが貴重でした。産地としては、新潟県糸魚川地方のヒスイや鳥根県出雲地方のメノウが有名です。これに対して、マグネシウムのケイ酸塩を主成分とする柔らかい滑石は、加工しやすく色も白・淡緑・灰色などさまざままで光沢もあることから多く使われました。

千葉県では、利根川や印旛沼周辺でこうした玉作りをしていた遺跡が

発見されています。成田市や香取市などにある「玉造」という地名は、玉作りをする集団が住み着いたことに由来するものと考えられます。芝山町でも上吹入遺跡や下吹入東台遺跡で滑石の原石や剥片(かけら)が出土し、玉作り工房の建物跡も発見されました。当時は、玉作り職人により①材料となる原石を手に入れる、②原石を割り加工しやすいく大きさにする、③粗い石や砥石で形を整える、④石製・竹製・鉄製のキリで穴をあける、⑤砥石や動物の皮で磨いて仕上げるという工程で作られたと考えられ、その技術の高さに感心させられます。



下吹入東台遺跡出土の滑石

町立古墳・はにわ博物館(☎77-1828)では、さくら祭・ゴールデンウィーク・県民の日・夏休み・はにわ祭に、勾玉作りが体験できます(材料費300円)。日程は、博物館ホームページでご案内します。

ご存知ですか？

# 芝山町子ども会育成協議会

町内各地の17単位子ども会によって組織されている「芝山町子ども会育成協議会（以下、町子ども会）」。平成25年度に行われたさまざまな活動をご紹介します。興味をもった方は、ぜひお問い合わせ・ご連絡ください。  
◎芝山町教育委員会内事務局 ☎77-1861

## 8月 ジュニアリーダー講習会

町子ども会の一大イベントであるジュニアリーダー講習会は、小見川少年自然の家を会場として、1泊2日で行われました。講習会には、小学4～6年生の子どもたち（受講生）34人と小学生の手本となる中学生スタッフ6人が参加しました。中学生スタッフは受講生たちが楽しめるように、さまざまなレクリエーションで盛り上げていました。

### 1日目

千葉県子ども会リーダースクラブ連合会長の大月さんによる講義とカレーづくり、カヌーを体験しました。



### 2日目

午前中は体育館でインシアチブゲームとベタンク、午後は消防署の方を講師として救急救命講習を行いました。



息を合わせて

1、2、1、2

燃えるー

キャンプファイアー

## 11月 芝山はにわ祭 子どもみこし

昨年31回目を迎えた「芝山はにわ祭」は、古代人と現代人との儀式をメインとして、産業祭、文化祭、商工まつりも同時開催される町を挙げての一大イベントです。

町子ども会では、地区の子ども会ごとにも色とりどりのおみこしを元気に担いで、お祭りを大いに盛り上げました。



## 2月 カローリング大会

町スポーツ推進委員会協力のもと、芝山町農業者トレーニングセンターを会場として開催しました。「カローリング」とは室内でカローリングが楽しめるようにと考案されたもので、老若男女問わず気軽にできるニュースポーツです。今年で、4回目となる大会に、子どもたちは悪戦苦闘しながらも、夢中で競技を楽しんでいました。



Let's カローリング

普段味わえない体験で  
輝きを増す子どもたちの笑顔